

笠置町

Kasagi Town

笠置山行場巡り

笠置寺は山寺。1周800mの修行場巡りは別世界。

奈良時代に南都僧侶が修行された山道は遊歩道として整備され、驚きと発見をともなう自然を楽しむコースとなりました。四季折々の笠置山をお楽しみください。



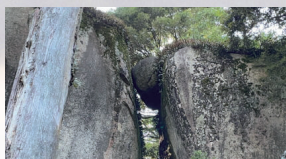
A 千手窟

東大寺大仏殿建立のため良弁和尚が千手の秘法を行い、一大事業を成し遂げられました。実忠和尚はこの隠穴から弥勒の世界に至って、観音悔過法を学ばれました。



B 後醍醐天皇行在所・もみじ公園

行場巡りもいよいよ終わり。山頂へと続く階段を登ると、後醍醐天皇の行在所跡です。眼下には80本つを数えるもみじ公園。春には青もみじ、秋には錦に彩られます。



1 笠置石

「笠置」の地名の由来。天智天皇の皇子が「笠を置かれた石」なので笠置石です。



2 正月堂

観音悔過法の会湯として、東大寺実忠和尚によって建立された御堂が起源。「お水取り」発祥の場です。



3 虚空蔵石

岩肌に刻まれた9mの仏像は、記憶力がよくなるというご利益のある虚空蔵菩薩さま。元弘の兵火に焼かれず、お姿をとどめています。



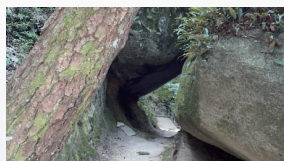
4 胎内くぐり

修行場のスタート。岩の洞窟を母胎にたとえ、通り抜けることによって生まれ変わるとされました。



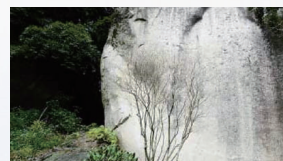
5 ゆるぎ石

元弘の戦乱において武器として使われた岩の残りは、端を押すとゴトゴトと動きます。



6 太鼓石

重なる巨石。丸くはがれている部分の右脇をたたくと「ポンポン」と鼓のような音がします。



7 弥勒磨崖仏

高さ15mの巨石に刻まれた仏は「天人の作」と伝えられ、元弘の戦乱の兵火を最後に焼亡したと言われています。



8 解脱鐘

蓮の花をモチーフに底部に六つの切り込みが施された釣鐘。重要文化財に指定されています。